

平成 29 年度 中央工学校 運営計画

1. 建学の目的

中央工学校は、明治 42 年（1909 年）「工業技術を教授し、もって実務的な技術者を養成する」ことを目的として設立された。校是を「堅実」とし、「誠実で豊かな社会性を有する技術者を育成する」ことを教育方針としている。また、学習指導の重点を「理論より実際」におき、厳しい実務教育を実践している。

創立 108 年目となる今日も、これらは普遍的に継承されるものであるが、次の 100 年へ向けて工業分野のみならず、商業実務及び文化教養、または国際的視点に立脚した留学生教育へと発展的展開を目指す。

2. 基本的運営方針

平成 29 年度の基本的運営方針を次のように定め全学的に推進する。

- (1) 実技・実習による「厳しい実務教育」を教育の中核とする。
- (2) 「人間涵養教育」により豊かな社会性を有する技術者を育成する。
- (3) 「誇りある中央工学校」を学生と共に築く。

3. 平成 29 年度 重点管理指針

平成 28 年度業務監査及び自己評価結果を踏まえ、平成 29 年度の重点管理指針を次のように定める。

- (1) 新校舎建設に合わせた学校運営の整備
- (2) 新校舎建設過程における教育環境の整備
- (3) 教育の質保証としての職業実践専門課程の運営
- (4) 教育実施計画の充実

4. 具体的方策

(1) 基本的運営方針について

ア. 厳しい実務教育

教室に限られた講義のみでなく、体験・実物確認を目的とした屋外実習を実施する。

(ア) 建築系

- ・総合建設実習 (必修 富士教育訓練センター) ※建築室内設計科・建築科除く
- ・施工管理実習 (建築学科・建築工学科 必修 富士教育訓練センター)
- ・ // (特別選択 富士教育訓練センター)
- ・内装施工管理実習 (建築室内設計科 必修 富士教育訓練センター)
- ・大工技能士実習 (木造建築科 必修)
- ・木造建方実習 (木造建築科 必修 中央工学校軽井沢研修所)
- ・伝統建築調査 (木造建築科 必修 中央工学校軽井沢研修所)
- ・地域密着型実践教育 (建築学科・建築工学科・建築室内設計科 必修)

(イ) 土木測量系

- ・総合建設実習 (必修 足場・地盤・下水道 中央工学校軽井沢研修所) ※昼間土木系学科対象
- ・ // (必修 造園施工 中央工学校軽井沢研修所) ※都市環境学科・造園デザイン科対象
- ・ // (特別選択 車両系建設機械 富士教育訓練センター) ※全学科対象

- ・総合測量実習（必修 中央工学校軽井沢研修所）※造園デザイン科除く
- ・企業研修（都市環境学科 必修）
- ・校内造園施設改修実習
- （ウ）機械 CAD 系
 - ・企業研修（機械学科 選択必修）
- （エ）デザイン系
 - ・校外設営実習（エンターテインメント設営科 必修）
 - ・舞台設営実習（エンターテインメント設営科 必修 クリスマスコンサート）
 - ・入学式、卒業式舞台演出（エンターテインメント設営科 必修）
- （オ）国際情報系
 - ・校外学習（必修）
 - ・インターンシップ（特別選択）
- （カ）スポーツ系
 - ・企業研修（必修）
 - ・レクリエーション現場実習（必修）
 - ・東京都介護職員初任者研修（福祉スポーツコース：必修、その他：選択必修）
 - ・キャンプインストラクター（必修）
 - ・キャンプディレクター（チャイルドスポーツ：必修、その他：自由選択）
 - ・スキー実習（必修）
 - ・スキューバダイビング実習（自由選択）

イ. 人間涵養教育

（ア）軽井沢合宿研修

コミュニケーション能力の向上・日本文化の理解と継承のため、全学生必修の軽井沢合宿研修（二泊三日、全 30 回）を実施する。

軽井沢合宿研修委員会（委員長：生川 清孝）

（イ）生活指導

生活指導主事を中心とした通学時のマナー指導、日常的習慣としての朝の挨拶運動（8：50～9：15）を継続する。

ウ. 誇りある学校づくり

学校生活を充実させ、卒業して誇りのもてる学校を学生と共につくる。

（ア）体育祭（第 59 回）

日時：6 月 16 日（金）

場所：東京武道館

体育祭企画実行委員会（委員長：大古 敦子）

（イ）飛鳥祭（第 52 回）

日時：10 月 21 日（土）・22 日（日）

飛鳥祭企画実行委員会（委員長：川西 浩）

（ウ）クラブ活動

学業優先を原則としたクラブ活動の推進と、活動支援を継続する。

クラブ・同好会運営委員会（委員長：若泉 栄）

(エ) 研修旅行

- ・ 建築系
国内建築研修旅行 (7月 特別選択)
- ・ デザイン系
海外研修旅行 (8月 特別選択) ※計画書により承認
国内研修旅行 (10月 特別選択)
- ・ 国際情報系
沖縄研修旅行 (11月 必修)

(オ) 中央工学校 同窓会

中央工学校同窓会 (会長：春日 泰、事務局：村山 栄二郎) との連携事業を推進する。平成 29 年度事業の主なものは次の通り。

- ・ 地域同窓会の開催 (11 地域)
- ・ 「(仮) 中央工学校同窓会ひと辞典」の刊行に向けた、活躍卒業生の掌握と紹介
- ・ 卒業 25 周年者を中心とした活躍者の紹介・展示
- ・ 飛鳥祭で「卒業生による講演会」の開催
- ・ 卒業 45・35 周年者を対象とした軽井沢南ヶ丘倶楽部見学会の開催
- ・ 卒業 50・40 周年を対象とした見学会、本部総会の開催
- ・ 卒業生調査の実施

(2) 重点管理指針について

ア. 新校舎建設に合わせた学校運営の整備

(ア) 平成 31 年 4 月 新校舎完成に向けて設置科構成の再編

新校舎を含んだ教室配当を考慮し、各設置科の統廃合を含んだ再編を行う。平成 29 年 7 月末までに決定する。学生定員数についても併せて見直しを行う。

イ. 新校舎建設過程における教育環境の整備

(ア) 学生サービスの低下を招かない先見性ある環境整備

学生食堂の休止、購買スペースの分散 (縮小) など新校舎建設過程の影響は少ない。工事中の騒音振動対策を含み授業への影響を最小限に抑え、学生に不利益が発生しないよう計画的対応をする。

ウ. 教育の質保証としての職業実践専門課程の運営

(ア) 教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の機能的な運営

職業実践専門課程の認定を機に、学校評価委員会・教育課程編成委員会が学校組織化された。形骸化させず問題点の発見と改善につながるように、両委員会を有効に機能させる。なお、平成 28 年度から教育課程編成委員会を工業専門課程・商業実務専門課程 (国際情報系) に分けて組織し、より実質的な運営が行われている。

スケジュールは次の通り。

① 学校評価 (自己評価、学校関係者評価) 委員会

6 月 : 業務監査 (各部署による自己評価)

10 月 : 平成 29 年度自己評価期間 (自己評価書作成)

1 月 : 学校関係者評価委員会 開催

2月：自己評価書・学校関係者評価書 公表（HP） → 次年度運営計画に反映
②教育課程編成委員会（工業専門課程系・商業実務専門課程）

7月：第1回教育課程編成委員会 開催

12月：第2回教育課程編成委員会 開催 → 次年度運営計画に反映

※各教育系WG 随時開催

エ. 教育実施計画の充実

(ア) 第三者評価の受審に備えた教育の整備

専門学校をとりまく環境は大きな変革の中にある。質保証の観点からも第三者評価は不可欠となり、受審に向けた準備を行う。

(イ) 各学科に相応しい目的、目標、指標の確立

各学科（各教科）において、社会的ニーズを反映させた目的・目標（指標）を定め、学生に周知の上で達成の努力を促す。

「何が出来るようになるのか」「何ができるようになったのか」を具体的に示す。

(ウ) シラバスからコマシラバスへの移行

各教科の教程（シラバス）を再検討し、平成30年度からシラバスからコマシラバスへと移行する。29年度はその準備期間に充てる。

(3) 継続して運営する重要事項について

ア. 法令等の遵守による適正な学校運営

(ア) 教科構成管理

①学則

学校の行う教育については全て学則に則って行われており、所轄役所に年度ごとに届け出を行っている。安易な判断による教科構成他の不用意な変更があってはならない。

②職業実践専門課程

職業実践専門課程（17学科）については、カリキュラム・連携する企業（講師）などの変更に対して、十分な注意が必要になる。

(イ) 個人情報管理

学生・保護者から提出された書類に記載された、氏名・住所・電話番号・生年月日等個人が特定・識別できる情報について、関連する法令を遵守し、その利用目的を明確にして厳重に管理すること。また、個人情報は適正な手段により収集し、その利用目的の達成に必要な範囲を越えて取扱いをしないこと。

個人情報は、原則として第三者には開示しないが、法令に基づく開示義務を負う場合や、学生・保護者の生命・身体・財産その他の権利・利益を保護するために必要であると判断できる場合及び緊急の必要があり、かつ個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に個人情報を開示することがある。

入学手続時及び在籍中に、本校所定の手続きにおいて収集する個人情報の利用目的は以下の通り。

- ・学籍管理、異動、学級編成、証明書作成等に関する業務遂行のため。
- ・教育活動における担任業務、成績処理、管理等を遂行するため。

- ・健康診断における健康管理、安全確保のため。
- ・教育活動において必要な書類の郵送、連絡等を遂行するため。
- ・学生の所属する学年、学級において教育上必要な連絡等を行うため。
- ・学生の所属するクラブ活動等において連絡を行うため。
- ・保護者会、教育懇談会、講演会、同窓会に関する連絡を行うため。
- ・教科書教材購入及び学生総合保険に加入する連絡等を行うため。

※ 個人情報管理責任者：各部署責任者（学科長・課長・室長）

イ. 留学生指導と在籍管理の徹底

東京入国管理局からの指導により以下に留意徹底する。

- ・資格外活動に関する調査、記録については、入学時の調査だけでなく、変更について十分に把握する。
- ・指導記録については担任不在の場合でも確認できるようにする。
- ・工業専門課程においても指導マニュアルにより指導を行う。

ウ. 進学を含んだ適正な進路指導

①就職指導

就職指導課を中心として、主に次の事業を実施する。

- ・就職指導ガイダンス
- ・合同企業説明会（春・夏季）
- ・就職模擬面接
- ・企業訪問（就職指導課・教員）
- ・中央工学校人材育成後援会関連行事（講演会・総会、軽井沢施設見学会）
- ・求人のための学校案内書作成

②進学指導

学内進学、大学・大学院他への編入学指導をクラス担任及び教務課と連携し行う。

③留学生進路指導

工業専門課程及びスポーツ系留学生への進路指導は就職指導課、国際情報系に属する留学生は、国際情報系（就職担当者）により行うことを原則とするが、相互横断的な指導体制を築く。

エ. 教員資質向上のための教員研修の充実

実務に直結した教育を行っている本校において、教員には常に新しい知識や技能の習得、資格取得が求められる。自己研鑽に努める事。

（ア）新入教職員研修

平成 29 年度新入教職員を対象として以下の研修を行う。

- ・専修学校制度
- ・軽井沢合宿研修所
- ・職業実践専門課程
- ・奨学金制度
- ・留学生指導

（イ）中堅教職員研修

中堅教職員を対象として以下の研修を行う。

- ・自己評価書の作成（模擬）

(ウ) 教員研修

教員研修委員会（委員長：魚野 健太郎）主催による教員研修発表会を開催する。

日時：8月25日（金）

場所：STEP ホール

（各教育系の研修発表については随時開催）

(エ) 留学生指導勉強会

工業系・スポーツ系の担任他を対象に留学生の適正な在籍管理を中心とした勉強会を開催する。

日時：5月13日（土） 13：00～

場所：161 教室

(オ) 教職課程研修会

専修学校教職課程研修会（主催：東京都専修学校各種学校協会）

研修者：建築系 渡部 玲子

(カ) 校外研修

研修者：デザイン系 齊藤 亮（舞台技術 修得）

建築系 木村 景信（施工管理 修得）

職業実践専門課程については、以下の区分による研修が求められている。

①専攻分野における実務に関する研修

②指導力向上のための研修

③学校運営に関する研修

オ. 幅広い世代に向けた生涯学習の開発と実践

生涯学習室（STEP）を中心とした生涯学習事業を継続する。現在実施されている事業等の主なものは次の通り。

- ・法務局・地方法務局 中央測量技術講習
- ・教育訓練（離職者等再就職訓練）
- ・受託講習（企業・団体対象講習・研修会）
- ・各種受験対策講座（2級建築士受験対策講座・第3種電気主任技術者受験対策講座他）
- ・在校生対象講習（パス講座・色彩検定・低圧電気取扱業務特別教育講習他）
- ・各種講演会（STEP UP セミナー他）
- ・大人のスピーカー作り「あの音を甦らせる」（デザイン系）

カ. 積極的広報による入学促進

広報センターによるグループ校全体での広報計画の立案及び推進を行う。また、前・後期初めに広報連絡会議を開催し、教員室との情報交換・意見聴取を積極的に行う。

- ・体験入学（25回）
- ・学校説明会（11回）
- ・保護者対象学校説明会（2回）
- ・社会人対象夜間相談会
- ・専門学校進学説明会
- ・高校訪問（教員・在校生による訪問を含む）

5. その他

(1) 外部に対する情報公開とその精査

ア. 学習成果の発表の場を広く求め、公開を行う。

平成 28 年度 (参加)

- ・ 専門学校卒業作品展示会 (建築系 全国専門学校建築連絡協議会 建築会館)
- ・ 学生建築設計優秀作品展 (建築系・デザイン系、レモン展 明治大学駿河台校舎)
- ・ 東京都専門学校アート&デザイン展 (デザイン系 東京都美術館)
- ・ くらしと測量・地図展 (土木測量系 新宿駅西口広場)
- ・ 中央工学校 卒業作品展 (中央工学校 STEP)
- ・ 第 45 回 国土地理院報告会 (土木測量系 日経ホール)

イ. 学習意欲高揚を目的として、各種コンペティションへ出展する。

平成 28 年度 (参加)

- ・ 主張する「みせ」学生デザインコンペ (建築系 公益社団法人 商業施設技術団体連合会)
- ・ 「新・木造の家」設計コンペ (建築系 NPO 法人 森林をつくろう)
- ・ 若年者ものづくり競技大会 (建築系：建築大工、デザイン系：木材加工)
- ・ キッチン空間アイデアコンテスト (建築系 公益社団法人 インテリア産業協会)
- ・ 第 18 回国際バラとガーデニングショウ (土木測量系 西武ドーム)
- ・ 第 9 回 ハーフエレ学生デザインコンペティション (デザイン系)
- ・ 第 30 回 丹波の森ウッドデザインコンペティション (デザイン系)
- ・ 飛驒の家具アワード 家具デザインコンテスト (デザイン系)
- ・ 第 14 回 ビジネスプロデュースコンペティション (国際情報系：全国専門学校情報教育協会)
- ・ 第 43 回 全国造園デザインコンクール (一般財団法人日本造園建設業協会)

ウ. 公開情報の精査

教務部教務課により次の観点から HP を中心とした公開情報の管理を行う。

- ・ 最新情報であるか (継続して掲載しておく必要があるか)
 - ・ どの部署から発信すべき情報なのか
 - ・ 適正な表現であるか
- (スポーツ系学科 HP を含む)

(2) 在学中の資格取得

学習成果到達度測定の一環として、在学中に次の資格取得を推奨する。

ア. 建築系

- ・ 2 級建築施工管理技術検定
- ・ 2 級管工事施工管理技術検定
- ・ 2 級リビングスタイリスト
- ・ 色彩検定
- ・ ビジネス能力検定
- ・ パース検定
- ・ 商業施設士補

- ・建築積算士補
- ・建築大工技能士（2級・3級）

イ. 土木測量系

- ・2級土木施工管理技術検定
- ・2級造園施工管理技術検定
- ・造園技能士（2級・3級）
- ・車両系建設機械運転技術者
- ・小型移動式クレーン運転者
- ・玉掛け技能者

ウ. 機械・CAD系

- ・2級3次元CAD利用技術者試験
- ・2級CAD利用技術者試験

エ. デザイン系

- ・インテリアコーディネーター
- ・商業施設士補
- ・イベント検定試験
- ・色彩検定試験
- ・カラーコーディネーター検定
- ・足場の組立等の業務に係る特別教育
- ・小型移動式クレーン運転者
- ・玉掛け技能者

オ. スポーツ系

- ・キャンプインストラクター
- ・レクリエーションインストラクター
- ・東京都介護職員初任者研修
- ・MOS試験（Microsoft office specialist）
- ・健康運動実践指導者

カ. 国際情報系

- ・日商簿記検定
- ・全経簿記能力検定試験
- ・ビジネス実務マナー検定試験
- ・MOS試験（Microsoft office specialist）
- ・日本語能力試験
- ・BJT ビジネス日本語能力テスト

（3）教育機関他との有意義な連携

高等学校との教育連携を推進し、相互理解と信頼関係を構築する。また専門学校・大学との連携について、前向きな研究開発を行う。

ア. 建築系

- ・第12回 高校生対象コンペティション

- ・東日本建築教育研究会 総会・研究協議会 参加
- ・全国設備工業教育研究会 参加
- ・設備授業連携（東京都立田無工業高校）
（電気工事関連実習：日本電子専門学校との連携授業）

イ. 土木測量系

- ・高校生対象測量士補 模擬試験
- ・全国高等学校土木教育研究会 総会・研究協議会 参加

ウ. デザイン系

- ・夏期特別体験入学（舞台大道具の作り方を学ぼう）
- ・舞台設営実習（クリスマス JAZZ コンサートにおける会場設営）
- ・夏休み 木のおもちゃづくり体験
- ・第 12 回 北区環境展

エ. スポーツ系

- ・第 21 回 飛鳥杯争奪高等学校バレーボール大会（後援：北区バレーボール連盟）
- ・夏期集中授業（駿台学園高校：情報 A）

（4）新学科開発の継続

教育課程編成委員会（統括：教務課長）を中心に、新学科の開発（統廃合を含む）について継続して検討する。

（5）保護者との連携

- ・保護者教育懇談会 6月3日（土） ※平成29年度運営計画配付
- ・保護者対象軽井沢施設見学会 6月24日（土）・25日（日）
- ・保護者通信発送（前・後期）

※ 運営担当：土木測量系教員室

（6）専門学校との連携

ア. 専門学校 コンソーシアム Tokyo

- ・夏季教員研修会 8月3日（水）・4日（木）日本電子専門学校
- ・Tokyo しごと倶楽部 2017 8月28日（月）ベルサール新宿グランド
- ・教育活動報告会 9月28日（水）東京テクニカルカレッジ

イ. 全国工業専門学校協会

平成29年度総会 6月27日（火）アルカディア市ヶ谷
学生による成果報告会 10月7日（土）中央工学校 STEP

ウ. 全国専門学校建築教育連絡協議会

平成29年度総会 6月17日（土）日本工学院八王子専門学校

エ. 全国専門学校土木教育研究会

平成29年度全国大会 9月9日（土）・10日（日）浅野工学専門学校

(7) 学生管理

ア. 出席指導

遅刻・欠席が常態化することのないよう、担任による根気強い指導を行う。

イ. 学籍異動に対する適切な指導（各教員室・教務課）

復学者に対する全員面接を実施し、学習意欲と休学理由解決の確認を行う。

(8) 学生満足度の向上

次の事項をまとめ校長へ提出する。

ア. 新入生アンケート

学生満足度向上の基礎資料及びクラス運営の一助とする。

イ. 授業評価・授業アンケート

学生による授業評価・授業アンケートにより学生満足度の測定を行い、必要に応じて教授方法の改善を行う。

ウ. 成績概況

学籍異動状況・科目平均点・出席率をはじめとした学習状況をまとめ、傾向の考察と改善に向けた対策を講じる。

(9) 防災対策の整備

ア. 避難訓練の実施

(ア) 新一年生を対象に避難場所の確認を行う（4月当初ガイダンス）。

- ・ 第一次避難場所：王子第二小学校
- ・ 第二次避難場所：北区中央公園

(イ) 学生を交えた避難訓練を計画的に実施する。平成 29 年度は次の通り。

- ・ 前期 14 号館地区（デザイン系）
- ・ 後期 20 号館地区（スポーツ系・機械 CAD 系・国際情報系）

イ. 防災備蓄品

保管期限（平成 30 年 6 月）になる前に、法人本部にて入替を行う。以降は保管期間 10 年、3 日分となる。

保管場所：14 号館地階・17 号館一階

ウ. AED 装置の設置

1・2・14・17・20・21（STEP）号館に、AED 装置合計 6 台を設置

※ 新校舎建設による仮移転後は別途周知

操作方法習得の為の講習会

8 月 25 日（金）教員研修発表会終了後 予定

エ. 非常時の学生連絡

休校などの判断は学生手帳（交通機関障害による授業の取扱い）による。必要に応じて HP による周知を行う。

以上